
ボロいサイフ

藤木 了

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ボロいサイフ

【Nコード】
N7257E

【作者名】
藤木 了

【あらすじ】
妹にサイフを買い直せ、と言われ

俺は貧乏だ。

まあ、貧乏とか言っても、金に困ってるわけではない。

「財布がボロボロだと金運が逃げるって言うわよ」

月末、金欠でひーひー言っているのは、特に俺が貧乏だから
と言う訳ではない。

「ほっとけ」

家賃も水道代も電話代も電気代も毎月きっちり払っている。

NHKはおいといて、だ。

なのに、どつかの実業家のハートを射止めた我が妹は、人のボロ
ボロになった財布で弄びながら、財布を買い直せ、という。

「じゃ、お金借りにこないでよね」

すまん。我が愛しの我が妹よ。

妹の説教に思わず小さくなった。の、俺の腕を。

がしっ!!

女の力とは思えないぐらいの力強さで引つつかんだ。

「く〜な〜んで、こっとなる!」
ずるずる引つ張られて、デパートへ。
いくら可愛くても!!! 嬉しくない!!!

「俺だつてなあ、俺だつて、買い直そうとは思ってたぜっ!?! だ
けどなっ!」

好みがあるのだ。安いのは、とにかくダサイ(俺にとってはな)。
たまに掘り出し物があるから、それを狙っているのだ。 狙い始
めて、すでに2年。というのはおいといて。

好みの高い新品のサイフを買うよりも、好きじゃない安いサイフ
を買うよりも、ボロボロだが気に入っているサイフを使う方がいい
だろ!

「なんで、欲しいサイフが1万や20万するワケ? 贅沢」

「それは贅沢とは違うだろ」

「でも、1万払って、余裕がある生活ができるなら、安いって。買
っちゃえ買っちゃえ!」

「1万もありゃ、半月 下手すりゃ1ヶ月は食いつなげるぞ」

「ド貧乏になっちゃうのはちょっとだけじゃん」

確かに、1・2ヶ月ちょっと我慢すりゃ、後はちょっとはリッチ
な生活を送れんなら、尻尾を振るけどな? そんな保障ねえし。

「第一そんなサイフ、カッコ悪いし」

ぐせつ。

「わかった」

買ったものの、やっぱりその月はド貧乏で。
その次の月もド貧乏だった。

その次の月からは今までと変わらねえ貧乏な日々。

まあ、期待していたワケじゃねーけど。ここまで何も変わらねーと、1万のサイフが憎い！あの悲惨な2ヶ月はなんだっただっ！？

そして、今日も妹に連れ出される。

こいつ、黒好きだよな。学生の頃から黒いサイフを使って
つか、あ？

「ちょっと待て。お前、なんでそんなにボロボロな財布使ってるんだ？」

人の財布を『カッコ悪い』などと、ほぎきやがったテーマが、俺のあのサイフと変わらねえボロボロなのは何だっ！？

「えー？ 別に私は貧乏じゃないしねえ」

黒で誤魔化されているが、すり切れてる。柄に見えないこともないが、ただ単にボロいだけだ！！

「お前こそ、財布ぐらい買えよ！ 貧乏くせえ！！」

「貧乏なのは、お兄ちゃんにっこり。」

妙に楽しそうなその笑顔に。俺は気が遠くなった。

ちくしょー、兄貴っつーのは常に妹に負けるものなのかつ！？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7257e/>

ボロいサイフ

2011年10月5日02時45分発行